

平成29年度

芸術系大学連携による「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト

～若い力を中心とした文化芸術による地方創生を目指して～

事業計画

平成29年6月

全国芸術系大学コンソーシアム事務局

I 事業の目的

■ 目的（骨子）

- ◆ 本事業では大学の枠を超えた連携・協力によるスケールメリットを活かし、文化芸術アソシエイツの戦略的育成に係る「人材育成プログラム」を計画的、かつ、体系的に行う。
- ◆ また、参画大学の学生・卒業生、平成28年度文化芸術アソシエイツ（試行版）修了者による協同、コラボレーションにより、多様なアーティスト・ユニットをフレキシブルに編成したアーツプログラムを全国各地で行う。
- ◆ 今後、2020年東京オリンピック・パラリンピックやそれ以降に向け、国や地域等の核となる若手のアートマネジメント人材を輩出するとともに、全国又は地域において、国や地方自治体等と協働した多様な文化芸術活動を推進することにより、地方創生の一役を担うことを目的とする。

Ⅱ 「文化芸術アソシエイツ人材育成プログラム」

人材育成

●参加資格及び定員

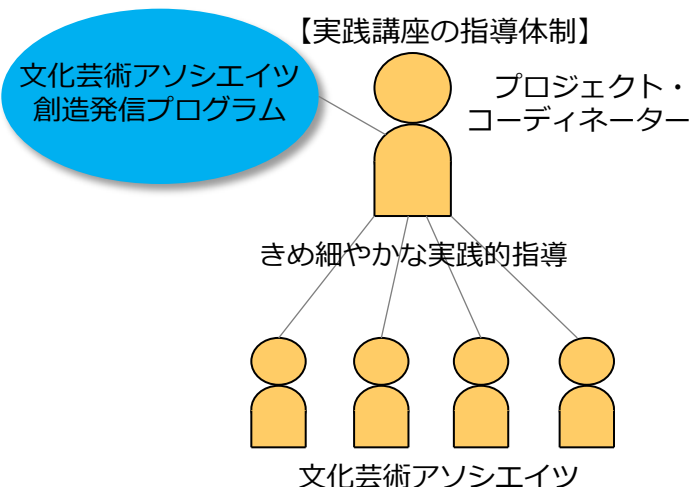
全国芸術系大学コンソーシアムに参加する大学の大学院生、卒業生及び修了生のうち、アートマネジメント関連分野に興味があるアーティスト及びアートマネジメント関連分野の者とし、次のカリキュラムに参加できる者とし、定員は20名。

●カリキュラム及び指導体制

- ・カリキュラムは、「基礎講座と実践講座」に区分し、基礎講座は合宿制による集中講義。
- ・実践講座は、「文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム」のプロジェクト・コーディネーターのもとに所属し、アーツプログラムの実践を実施。

【基礎講座：福島県郡山市】

日程	午前		午後	
7月22日		開講式 ガイダンス	講義① 震災関連の特別講義	講義② メセナ企業
7月23日	講義③ (ファントレヰジツク)	講義④ (文化行政)	演習① プレゼン演習	演習② 模擬企画書
7月24日	演習③ 模擬企画書のプレゼン	演習④ 模擬企画書のプレゼン	演習⑤ 講評	



Ⅲ 「文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム」

アーツプロジェクト

●文化芸術アソシエイツ創造発信プログラムの概要

◆プロジェクト・コーディネータが実施するアーツ・プロジェクト

- ・ 全国的な文化普及活動を展開するため、今年度は五地区で開催。
- ・ 各地区のアーツ・プロジェクトに責任大学とプロジェクト・コーディネーターを設置。
 - アーツ・プロジェクト経費は責任大学へ再委託。1地区のアーツ・プロジェクト350万円。
- ・ プロジェクトの共通テーマは、地域における諸課題に対して、地域コミュニティと連携しつつ、その地域の文化資源を活用して、その魅力を再発見し、芸術の持つ可能性を活かした未知なる成果の創出、新たなフロンティア開拓へと繋げていくこと。

◆文化芸術アソシエイツ修了者が実施するアーツ・プロジェクト

- ・ アソシエイツ修了者を対象とした企画公募を実施（グループでの申請可）
- ・ アーツプロジェクトの実施地域は、プロジェクト・コーディネーターが実施するアーツ・プロジェクトとの実施地域と同じ。
 - また、修了生はプロジェクト・コーディネーターの指導のもとプロジェクトを実施。
- ・ 採択件数2件、一件あたり75万円。

IV「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト 実施体制

体 制

「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト

①文化芸術アソシエイツ 人材育成プログラム

対象：加盟大学の大学院生・卒業生、修了生
募集人員：20名
カリキュラム：
基礎講座（合宿）及び実践講座（インターン制）

研修生の派遣

実践研修の提供
（きめ細やかな指導）

②文化芸術アソシエイツ 創造発信プログラム

内容：プロジェクト・コーディネーター及びアソシエイツ研修修了生が企画立案・実施
場所：全国5ヶ所
テーマ：地域課題解決に向けたアーツ・プロジェクト

実践
指導

企画及び
実施等

プロジェクト・
コーディネーター

文化芸術アソシエイツ運営会議
【13大学22名で構成】
・各プログラムの総括・検証

実施責任大学

連絡
調整

助言等

プロジェクト・コーディネーター会議
【各プロジェクトの責任者】
・アソシエイツ研修生の選考
・指導の連絡調整

事務局
東京藝術大学

文化芸術アソシエイツ
創造発信プログラム会議
【文化庁・企業等の外部委員】
・主にアーツプロジェクトの助言

V スケジュール

6月～9月

○6/上 文化芸術アソシエイツ運営会議

- ・事業計画の承認
- ・責任大学及びプロジェクト・コーディネーターの選出
- ・各公募要項の承認 等

○6/中 研修生及び修了生の公募

→ 〆切 7月3日(月)

○6/下 文化芸術アソシエイツ運営会議(書面審議)

→ 文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム委員の承認

○7月7日 プロジェクトコーディネーター会議／文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム会議

- ・アソシエイツ研修生の審査
- ・アソシエイツ修了生の企画公募の審査 等

○7/中 研修生及び修了生へ通知

○7月22日～24日 開講式／合宿／プロジェクトコーディネーター会議／文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム会議

- ・オリエンテーション及び基礎講座の実施
- ・指導方法の確認
- ・アーツプロジェクトの方向性の確認 等

10月～12月

○9/末 プロジェクトコーディネーター会議／文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム会議

- ・アーツプロジェクトの企画等の確認 等

○10月～2月

プロジェクト・コーディネーター、文化芸術アソシエイツ、文化芸術アソシエイツ修了生が一体となり、各地区でアーツプロジェクトの展開

1月～3月

○3/上 文化芸術アソシエイツ運営会議／プロジェクトコーディネーター会議／文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム会議

- ・事業の検証シンポ
- ・閉校式 等

は、会議を表示している。

芸術系大学連携による「文化芸術アソシエイツ」戦略的育成プロジェクト

～若い力を中心とした文化芸術による地方創生を目指して～

業務の目的

平成28年7月に設立した全国芸術系大学コンソーシアム※1が、大学の枠を超えた連携・協力によるスケールメリットを活かし、文化芸術アソシエイツ※2の戦略的育成に係る各プログラムを計画的、かつ、体系的に行うとともに、参画大学の学生・卒業生又は平成28年度文化芸術アソシエイツ（試行版）修了者※3による協同、コラボレーションにより、多様なアーティスト・ユニットをフレキシブルに編成したアーツプロジェクトを全国各地で行い、今後、2020年東京オリンピック・パラリンピックやそれ以降に向けて、国や地域等の核となる若手のアートマネジメント人材を輩出するとともに、全国又は地域において、国や地方自治体等と協働した多様な文化芸術活動を推進することにより、地方創生の一役を担うことを目的とする。

※1 【全国芸術系大学コンソーシアムの概要】

- ・平成28年7月、我が国における文化芸術の振興や教育研究の質的向上を目指して設立。
- ・現在、国立4、公立10、私立42大学の合計56大学が加盟し、会長・事務局は東京藝大。



戦略的芸術文化創造推進事業

文化芸術活動を推進する「beyond2020プログラム」

①「文化芸術アソシエイツ人材育成プログラム」の実施

◆加盟大学から研修生を募集

目的：我が国における「文化芸術資源」を活用して、全国各地で国や地域の要請に応じたアーツプロジェクトを企画立案する人材、芸術と社会との新しい関係を提案できる人材の育成を目指す

カリキュラム：基礎講座（製集中講義：2泊3日）+実践講座

対象：大学院生、卒業生、修了生

※文化芸術アソシエイツ運営会議にて選考する



②「文化芸術アソシエイツ創造発信プログラム」の実施

◆プロジェクト・コーディネーターが実施するアーツ・プロジェクト

目的：全国的な文化普及活動の展開

開催地：国内5地区

※各地区のアーツプロジェクトに責任大学及びプロジェクト・コーディネーターを配置

◆「平成28年度文化芸術アソシエイツ修了者」によるアーツプロジェクトの公募

対象：平成28年度文化芸術アソシエイツ修了者

※個人の他、複数のアソシエイツのグループでの申請も可



文化芸術アソシエイツ運営会議

【13大学22名で構成】

- ・アソシエイツ研修生の選考
- ・各プログラムの総括・検証

【事務局】

東京藝術大学

豊かな社会の実現

地域コミュニティの充実

2020年以降を見据え、日本の強みである地域性豊かで多様性に富んだ文化を活かし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーを創り出すことが求められており、こうしたレガシー創出に資する文化プログラムを「beyond 2020プログラム」として認定し、日本全国に展開する。